

# 青森県地域密着型金融推進プラン2018改訂版

～ 金融仲介機能を発揮し、地域密着型金融を実現 ～

県内中小企業の金融円滑化に向けた、今後5年間(2018年度～2022年度)の基本的な取組方針

本プランの  
目指す状態

「中小企業は、金融機関に対し、自社の経営実態等に関する情報を積極的に提供し、金融機関からは、当該情報に基づく最適な金融サービスが提供されている。」という親密な関係を長く維持することにより、県内中小企業がその持てる力を存分に発揮できる金融環境が整っている状態(＝**地域密着型金融の実現**)。

県内の  
諸情勢

## 【社会経済情勢】

- 人口・中小企業数の減少
  - 人手不足
  - 事業承継の問題
  - 低金利
  - 貸出金の増加
- 資金調達・供給以外の課題への対応が求められる
- 資金調達・供給環境の変化

## 【リレバン・レポートから】

- 金融機関に対する中小企業の満足度は向上
- 事業内容への理解度が満足度に大きく影響
- 事業計画の作成状況と中小企業の情報提供量は従来と大きな変化なし
- 融資関連に比べコンサルティング機能への評価は低い

克服すべき  
課題

## 【課題1】

### 中小企業と金融機関のコミュニケーションの深化

中小企業と金融機関が、いかにコミュニケーションを深化させるか。

## 【課題2】

### 事業性評価等に基づく最適な解決策の提供

金融機関が、中小企業の事業内容等を適切に評価し、いかに最適な解決策を提供するか。  
(資金供給・経営支援サービス)

取組方針

- ①経営者の意識改革・主体的な取組とそれに対する支援
- ②中小企業との関係強化を通じた経営情報の把握・分析
- ③的確な中小企業ニーズの把握

- ①事業性評価への取組
- ②事業性評価等に基づく資金供給機能の提供
- ③事業性評価等に基づくコンサルティング機能の発揮

本プランの  
着実な推進  
のために

- ①各機関の連携による取組を継続  
各機関各々の取組と各機関連携による取組を継続して推進
- ②「あおり金融レポート(リレバン・レポート)」の発信強化  
「あおり金融レポート」の発信を継続し、中小企業の地域密着型金融に対する理解を促進
- ③金融機関の取組の「見える化」  
・金融仲介機能の発揮状況を示す「金融仲介機能のベンチマーク」等の公表を推進  
・各機関の取組内容を「あおり金融レポート」に掲載し公表(資料編)